



通信

HP 学校だより
R4. 10. 25
NO. 25
文責 伊藤美佳

縁の下の力持ち

20日(木)に就学時健診が行われました。健診をするにあたって、体育館の準備を5年生が行いました。以前は、5年生が園児をつれて健診場所を周り、待っているときは退屈しないように絵本を読み聞かせたり、お話をしたりと6年生になる前の準備をこの時期にしていたことを思い出しました。また、24日(月)の朝には、11月に行われる「とよさかつ子 Day」の準備のため、低学年のクラスにあった台を6年生が運んでいました。重たい台を1階に下ろすことは大変です。がんばって運んでくれた台が舞台の前に積んであります。きっとこの台の上で、一生懸命に練習した演目を多くの子どもたちが発表してくれることでしょう。

まだまだ以前のように行事を行うことができないですが、行事があるときには、いつも誰かが準備していること、誰かが片付けをしていることを知っていてほしいと思います。そして、そのことに感謝しつつ、行事を楽しんでくれることを期待します。

縁の下の力持ちでがんばってくれている子どもたち 保護者の皆様 地域の皆様
いつもありがとうございます。



「整う」ということ

学校内を巡回していくと、トイレのスリッパが気になって見てしまいます。学校のトイレは、シューズを脱いでスリッパにはき替え、またシューズにはき替えなければなりません。ともすると、次の人のことを考えずにスリッパを脱ぎ捨てて行きそうになります。しかし、最近、次の人がはきやすいようにスリッパをそろえてくれている子が増えたように思います。きれいに整っているスリッパを見ると、子どもたちの心も落ち着いているのだと感じます。また、下駄箱も同様に整っていました。

トイレのスリッパや靴の整とんからすべてを伝えることはできませんが、「次に使う人のこと」「周囲の人のこと」を考えられる心配り、心遣いがとてもすてきです。



とよさかつ子 Day に向けて 練習始まる

とよさかつ子 Day の練習が今週から始まりました。すでに配役をきめて練習が始まった学年、配役のオーディションをしている学年とさまざまですが、どの学年も子どもたちの意欲は満々です。1年生は1つの役にたくさんの子が立候補し、オーディションをしていました。どの子も、自分がこの役をやるんだという意気込みを感じました。

一つの劇、出し物をするためには、いろいろな役が必要です。どの役もその劇には必要な役です。自分の役に責任をもち、よりよくするためにその役についてしっかりと考えて練習に臨む、そんな豊坂っ子だからこそできる「とよさかつ子 Day」にしたいです。